

いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.79

令和7年8月1日発行

●発行／射水市議会 ●編集／広報委員会
〒939-0294 富山県射水市新開発410番地1
TEL(0766)51-6610 FAX(0766)51-6645
E-mail gikai@city.imizu.lg.jp



暑中お見舞い申し上げます

射水市議会議員一同

Imizu Music Festival [ONE FES] at 海王丸パーク▲

7月

18日 広報委員会
22日～23日 議会運営委員会行政視察
25日 議会報告会(総務文教常任委員会)

26日 本会議、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会
25日 予算特別委員会、議会運営委員会、全員協議会
24日 予算特別委員会、議会運営委員会
19日 産業建設常任委員会
18日 民生病院常任委員会
17日 総務文教常任委員会
16日 予算特別委員会
13日 本会議(一般質問)
12日 議会運営委員会、広報委員会、全員協議会
6日 本会議(代表質問)、議会運営委員会、本会議、全員協議会

6月

【定例会】

30日 議会運営委員会、全員協議会、議員懇談会
19日～21日 民生病院常任委員会行政視察
14日～16日 総務文教常任委員会行政視察
12日～14日 産業建設常任委員会行政視察

5月

市議会のこうじき

代表質問



【自民射水の会】
大 垣 友 和 議員



- 1 市制20周年を踏まえた市長の思いについて
- 2 能登半島地震で被災した港町地区の液状化対策について
- 3 教育について
- 4 10年後、20年後の第一次産業について

問①▶ 市制20周年を踏まえた市長の思いについて問う。

答①▶ 4期16年間、市民が幸せを実感できるよう様々な重要施策を強力に推進してきた。中でも子ども医療費や保育料の無償化、子育て支援施設などの環境整備により、子育て世帯を中心に若者に選ばれるまちとして認知が進んだと考える。本市の更なる発展に尽くしたいという強い思いから、引き続き市政を担わせていただきたい。

問②▶ 能登半島地震で被災した港町地区の液状化対策について問う。

答②▶ 地下水位低下工法による実証実験の同意を年内には開始し、工法の妥当性を検証するとともに課題を整理する。本工事の実施にあたっては、住民との合意形成を図り、安心して住み続けられるよう早期復旧に努める。

問③▶ 新湊放生津小学校の子どもたちへのエールと運営方針について問う。

答③▶ 新湊・放生津地域には、本市を代表する歴史や文化、豊かな食や自然など多くの地域資源が存在している。児童の皆さんには、今年度の取組の一つ一つが新しい学校の新たな歴史と

伝統づくりになる自覚を持ち、様々な方々と積極的に交流し、地域とつながり、地域を愛し、何事にも前向きに取り組んでくれることを期待している。

問④i▶ アグリテックバレー構想における農業の成長産業化の展望について問う。

答④i▶ 「新規就農者の確保・育成」、「多様な人材の活用」、「リーディング経営体の育成・集落営農の後継者対策」、「生産性・収益性の向上」を四つの柱とした「(仮称)射水市アグリテックバレー推進サポートセンター」を開設する。構想の実現に向けた取組を実践し、またその取組を波及させることで本市農業の生産性・収益性を向上させ、持続的に稼げる農業の定着を目指す。

問④ii▶ 「ます寿司給食」について問う。

答④ii▶ 「ます寿司給食」は本市特産品である「いみずサクラマス」の魅力を次世代に伝え、子ど

もたちが地元の食材や食文化に親しむ貴重な機会になると考える。「寿司と言え、射水」を周知する大変有意義な取組であることから今後、地元漁業関係者や加工業者をはじめ関係機関の協力を得ながら前向きに検討を進める。

問④iii▶ 10年後、20年後の第一次産業の見通しについて問う。

答④iii▶ 経営効率の向上やブランド化、6次産業化などを推進し、「稼げる」第一次産業を目指していくなど、10年後、20年後を見据え、地域資源をより良い状態で継承し、地域に根差した強い産業基盤を築き、第一次産業が地域の活力源となるように取り組んでいく。



いみずサクラマス
IMIZU SAKURAMASU

その他の質問

- 「いみず地域共生プラン」の見直しの方向性について
- 射水市民病院について
- 射水市上下水道について
- 本市のDXについて
- 本市商工業について

代表質問



【いみず志政会】

石田 勝志 議員



- 1 地方創生の実現に向けた取組について
- 2 地域交通の運転手不足への取組について
- 3 サークュラーエコノミー（循環経済）の考え方について
- 4 母子生活支援施設の必要性について
- 5 児童数の推移について

問①i▶ 移住・定住促進と若年層の女性の転出超過対策について問う。

答①i▶ 令和6年度の移住者数は過去最多を記録し、特に若年・子育て世帯が約9割を占める。一方で、15～24歳の若年層の女性の転出超過が課題である。地域への愛着醸成や、Switch IMIZUにおける女性コミュニティマネージャーによる起業支援、SNSでの情報発信等で地元定着と移住促進を図る。

問①ii▶ 夏野市政の主な成果と今後の方向性について問う。

答①ii▶ 多岐にわたる地方創生策を進めてきた。引き続き行政だけでなく、住民や民間事業者と一体となった「総力戦」で地域活性化に取り組む。

問①iii▶ 新たに策定される富山県総合計画との連携について問う。

答①iii▶ 県主催の「未来共創セッション」等の機会を捉え、情報共有しながら連携強化を図っていく。

問②▶ 地域交通の運転手不足への取組について問う。

答②▶ コミュニティバスや「のるーと射水」等の役割分担で効率化を図るとともに、交通事業者に対する募集活動への支援も行うなど、引き続き連携して取り組む。

問③▶ サークュラーエコノミー（循環経済）の認識と、事業の可能性について問う。

答③▶ 富山大学を中心に進められている「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」に呉西6市で参画している。とりわけ、本市は富山新港を擁し、多様な業種の事業所が集積するため、高いポテンシャルを有していると考える。

問④▶ 母子生活支援施設の必要性に対する見解と取組について問う。

答④▶ 県内唯一の母子生活支援施設廃止は残念である。本市は母子保護が必要な事案に対し、個々の状況に応じ関係機関と連携して支援している。母子生活支援施設は多様な支援が可能であり、今後、県に設置の必要性を要望する。

問⑤▶ 今後の児童数・学級数の見込みと、小規模特認校制度の考え方について問う。

答⑤▶ 令和13年度には小学校児童数が724人減、学級数も23学級減となる見込みである。

下村小学校で複式学級が続いているほか、金山小学校でも複式学級になる見込みがある。

「射水市学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、複式学級が続くと見込まれる小規模校については、原則統廃合を検討することとしており、下村小学校では保護者、地域との意見交換を継続して行っている。

小規模特認校制度は選択肢の一つと認識しつつも、児童生徒が多様な意見に触れ、社会性を涵養する集団学習の重要性から、隣接校との統合による一定規模の児童生徒数確保が望ましいと考えている。



その他の質問

- 指定管理料の考え方について
- 射水市当局の組織改編・新設等について

代表質問



【自民委員会】
津田 信人議員



- 1 射水市におけるDXの推進と職員の働き方改革について
- 2 屋外における児童、生徒の安全確保について
- 3 ふるさと納税について
- 4 高齢者を取り巻く状況と終活事業について

問①▶ DXの推進は職員の働き方改革にどのような影響があったのか。

答①▶ 社会情勢の急速な変化を起因とする行政課題の複雑化・多様化により業務量が増大し、職員にかかる負荷が大きくなっている。これまでRPAやAIなどのデジタル技術の活用や書かない窓口の導入により、業務の効率化・市民サービスの向上に取り組んでいるほか、現在は業務手順を見直すことで効率化・最適化を行う業務改革に取り組んでいる。これらの取組により職員の負担軽減が図られ、併せてオンライン会議の実施やペーパーレス化の推進、テレワーク制度の見直し等により柔軟な働き方にもつながるものと考えている。

問②▶ 屋外における児童・生徒の安全確保について問う。

答②▶ 奈良県での落雷事故を受け、4月14日に富山県教育委員会を通じ文部科学省とスポーツ庁連名の落雷事故防止についての文書が送達され、翌日には本市小中学校長会において改めて

注意喚起を行った。各校では、気象庁の雷注意報やリアルタイムで雷発生情報が確認できる雷ナウキャスト等で事前予知するとともに活動中に天候が急変した際は、速やかに活動を中断し安全な屋内に避難する措置を講じている。

問③▶ ふるさと納税の返礼品に農産物が少ないのではないのか。

答③▶ 本市の返礼品において農産物、特にコメや地場野菜などは、他市町村と比較して品目数、申込数ともに少ないという課題を認識している。コメの返礼品については、令和7年度産米の一定量を確保しているが、地場野菜等については、作付面積や収穫量に限りがあり、返礼品として安定的な供給が難しい状況である。いみず野農業協同組合、農業者及び農業法人との継続的な協議を通じて、安定的な供給体制の確立に努めている。

問④▶ 本市のエンディングノートは、どのように活用しているのか。

答④▶ 本市のエンディングノートである「思いを伝えるノート」は、高齢者の人生の最終段階において、医師や介護、財産の取扱い等について、本人の意思が尊重されるよう家族や親族など大切な人へ自分の思いを伝えることや生活を考えるきっかけづくりを目的としている。人生の記録や「もしも」のことがあったときに残される人に伝えたい情報を書き記す冊子として、これまで約1万1千冊を配布し市民に活用してもらっている。



その他の質問

- 職員の綱紀粛正について
- こども基本法の捉え方と具体的な取組について

一般質問



加治 宏規 議員

- 1 液状化した港町の今後の復旧復興について
- 2 カモン新湊ショッピングセンターについて

問①▶ 液状化対策の進捗状況と今後の復旧復興について問う。

答①▶ 液状化対策の実施を最優先し、あわせて道路や側溝などの復旧を進める。復旧後のまちづくりについては、地元住民が主体的に取り組むことが重要と考えており、本市として必要な支援について今後検討してまいりたい。

問②▶ カモン新湊ショッピングセンターの閉店後テナントもすべて撤退し、地域住民からも施設管理等について心配の声があがっている。この施設の今後について市の見解を問う。

答②▶ 商業施設としての機能は現在なく、建物等は所有者により適切に管理され、今後の利活用についても所

有者が検討されるべきものと考えている。空き店舗となったことにより、景観や治安といった面で周辺住民が不安を感じているという声に対しては、所有者にその不安の払しょくに努めていただくようお願いする。

その他の質問

- 防災減災の考え方について
- 春から夏にかけての市内イベントについて
- 道の駅の進捗状況について
- 移住定住について
- 住み暮らしやすい環境の整備（側溝）について

一般質問



根木 武良 議員

- 1 市営住宅の入居時の保証人と退去時における修繕費について

問①▶ 身寄りのない高齢者など市営住宅入居時に保証人がいない場合の手続きはどうなるのか。

答①▶ 少子高齢化に伴う人口減少や対人関係の希薄化により保証人2名を確保することが困難となっていたため、本市では平成30年4月から入居時の保証人を2名から1名に減らし入居者の負担軽減を図った。保証人は入居者の債務保証に加え、入居者に不測の事態が起きた際の緊急連絡先として必要と考える。しかし、近年は高齢者、障がい者等住宅確保要配慮者の中に保証人の確保が困難な事例もあり、住宅セーフティネット機能の

強化に向け、家賃債務保証業者の保証サービス導入について調査研究してまいる。



その他の質問

- 学校給食の公会計化について
- マイナ保険証について
- 宅地造成による雨水対策について

一般質問



西元 勇司 議員

- 1 民生委員児童委員の課題と解決策について

問① i ▶ 全国各地では80歳過ぎの志ある民生委員児童委員が生涯現役で活躍されているが、本市の担い手の今後の推移と年齢制限撤廃への見解を問う。

答① i ▶ 今後高齢化していく傾向にあると推察している。民生委員児童委員は、年齢以外に様々な要件を備え地域から推薦を受けた方である。年齢基準を超えている場合もこれまで弾力的な運用をしてきており、引き続き地域から推薦を受けたことを重要視してまいる。

問① ii ▶ 担い手不足解消や報恩として元議員や元市職員も民生委員児童委員を担うべきという提案への見解について問う。

答① ii ▶ 候補者の掘り起こしについては、市と市民生委員児童委員協議会、市社会福祉協議会等とが連携・協力し、担い手不足の解消にどのようなアプローチが望ましく効果的であるか検討してまいる。

その他の質問

- ワークセンター射水の目的と活用状況について
- アイタウン射水の事業計画と企業誘致状況について

一般質問



高畑 吉成 議員

- 1 子育てしやすいまちづくりと保護者の不安の解消について
- 2 避難所の初動時の受付について
- 3 射水市防災会議について

問① i ▶ 本市の図書館は静かに利用する環境にあり、子どもたちはにぎやかな声を発することができない。子どもの居場所としてのにぎやかな図書館について見解を問う。

答① i ▶ 様々な図書館の在り方について、他自治体等の事例を調査研究してまいる。

問① ii ▶ 放課後児童クラブの潜在的ニーズと将来を見据えた受入れの拡張について見解を問う。

答① ii ▶ 市内の公立小学校の他、保育園や認定こども園、幼稚園等に通う子どもの保護者へ利用意向調査を実施し、支援員等の人材の確保、処遇改善等に取り組み、放課後の居場所の確保に努める。

問② ▶ 避難所初動時の受付について伺う。

答② ▶ デジタル技術を用いた受付は、効率的であり導入に向けて検討する。

問③ ▶ 射水市防災会議における女性委員と高齢者や障がい者等の支援団体等からの委員の登用について問う。

答③ ▶ 女性委員を含め、配慮が必要な方の視点も考慮した委員登用について検討する。



一般質問



山本 満夫 議員

- 1 ひとり暮らし高齢者等のごみ戸別収集事業の試行実施について

問① ▶ 対象者の判断基準に対する不公平感の懸念や、ケアネット活動をしている関係団体への説明の必要性について問う。

答① ▶ ひとり暮らし高齢者等ごみ戸別収集事業は、ごみ出しが困難となっている高齢者を対象に自宅前までごみの収集に伺う事業である。

対象者の要件は、ひとり暮らし高齢者等で要介護の認定を受けている方であり、身体機能の衰え、或いは認知機能の低下によって、ごみステーションまでごみを運ぶことが困難な方としている。また、その該当者の基準については、不公平が生じないように適切に対応したい。事業説明や周知

については、居宅介護事業所及び地域振興会に対して実施する予定であるが、「ケアネット活動」によりごみ出しを支援している各地区の社会福祉協議会等の関係団体とも調整を図り、より良い制度となるよう努めてまいる。



その他の質問

- 空家・空き地対策について
- 公費解体の進捗状況について

一般質問



西尾 哲 議員

- 1 公共施設への個人利用スペースの設置について
- 2 クリーンピア射水の危機管理について

問① ▶ 公共施設への個人利用スペースの設置（市民の居場所づくり）について問う。

答① ▶ クロスベイ新湊及び各市立図書館等の学習スペースやアル・プラザ小杉内の学習交流スペースに加えて個人利用スペースを設けることについて、施設の利便性向上等が期待できる場合には、未利用や低利用のスペース等を活用することも手法の一つとして考えられる。引き続き、市民ニーズを的確に捉えた施設運営に努めてまいる。

問② ▶ クリーンピア射水における火災事故等の発生件数及び原因分析について問う。

答② ▶ 過去5年で火災が1件、小火等事故案件が誤作動を含め16件発生している。原因は不適切な分別によりリチウムイオンバッテリー等の発火物が混入したことによるものと推測している。火災事故発生時、地域の皆様には不安や消防車両、消防団の出動等ご負担をお掛けしている。今後、再発防止と適切な施設の管理運営に努めてまいる。

その他の質問

- 射水市のコメ生産調整について
- 二地域居住の推進について
- 消防団員の確保について

一般質問



呉 松 福 一 議員

- 1 市長及び議員や市幹部職員の出退表示盤の設置について
- 2 協働のまちづくり推進条例について
- 3 太閤山地区リノベーション計画について
- 4 市の看板問題について
- 5 薬勝寺池の問題について
- 6 新湊地区の観光について

問①▶ 市長、議員及び市幹部職員の出退表示盤を設置されたい。県、他市、旧市町村や旧市庁舎にも設置されていた。政策の変更であり、当局の見解を求める。

答①▶ 設置は予定していない。

問②▶ 協働のまちづくり推進条例があるが、住民との乖離がある。市税を納めている市民の中には行政サービスは市がするのが当然という意見もある。趣旨の理解を求められたい。地域振興会の自主財源ができる対策などとしてはどうか。

答②▶ 今後も、地域振興会へ条例の趣旨の周知、まちづくりに関する情報提供に努めるとともに、意見交換を行っていく。

問③▶ 太閤山地区リノベーション計画をもっと進めてほしい。

答③▶ 優先順位をつけ課題解決に向けた取組を進めている。学生が地域に参画する仕組みづくりを調査・研究していく。

問④▶ 市の看板はきれいにし、必要ないものは撤去すべき。

答④▶ 予算を確保し適切に対応する。

問⑤▶ 薬勝寺池を釣り場にするため鮒を放流されたい。

答⑤▶ 試験的な放流に向け、検討したい。

問⑥▶ 観光客のため新湊地区に駐車場を増設されたい。

答⑥▶ 現在185台分あるが、新たな確保を検討している。

一般質問



杉 浦 実 議員

- 1 公共交通におけるバス運転手確保の状況と再開の見通しについて
- 2 2025射水ベイエリアにぎわい創出について

問①▶ 4月から新湊・呉羽駅線が臨時運休となっている。バス運転手確保の状況と運行再開の見通しについて問う。

答①▶ 本市では、新たに各運行事業者による工夫を凝らした運転手募集活動への支援等を行っている。採用された運転手は、必要な免許を取得後、フルタイムで勤務されている70歳代の運転手に代わって勤務されると聞いており、現時点では、再開が見通せるほどの採用人数とはなっていないが、早期の運行再開が実現できるよう取り組んでいく。

問②▶ NHK巡回ラジオ体操開催日時や参加人数等について問う。

答②▶ 8月20日（水）にオリバースポーツフィールド射水において開催予定。周辺の地域振興会や小中学校、オリバースポーツフィールド射水の利用団体、スポーツ少年団など約1,000人の参加を見込んでいる。



その他の質問

- ゼロカーボンシティいみずの実現に向けたマイボトル利用促進及びクーリングシェルトー設置状況等について

一般質問



金 賢 志 議員

- 1 ハラスメントについて
- 2 農業関係について

問①▶ ペイシェントハラスメントに対する市民病院の方針を問う。

答①▶ 昨年度実施したアンケートによると、約半数の職員が、大声や暴言などで執拗に繰り返し責め立てられるなどの「ペイハラを経験したことがある」と回答しており、業務の遂行や心理的安全性に影響を受けている現状が明らかとなった。今後、ペイハラに対する基本指針を策定し、院内掲示や当院ホームページへ掲載する予定である。併せて、具体的なペイハラ対応策を示す対応マニュアルの作成を進めており、作成後は職員研修を行い、これまで以上にペイハラの予防・対応に向け取り組む。

問②▶ 令和7年度における本市の備蓄米出荷契約数量を問う。

答②▶ 本市の備蓄米出荷契約数量は990トンで、前年度と同数となっている。



その他の質問

- 一般廃棄物（し尿）の収集運搬及び処理について

総務文教常任委員会

議案11件及び報告1件を可決（承認）すべきものとなりました。
所管事務について7件の報告を受けました。

学校体育館への空調設備の整備について

学校体育館は、児童生徒の教育や活動の場であるとともに、災害時における指定避難所としての重要な役割を担っている。近年の猛暑を踏まえた熱中症への対策が不可欠であり、教育環境の向上と防災機能の強化を図るため、市内公立学校体育館に空調設備を整備するもの。

問 電源自立型のガスヒートポンプエアコンを設置することであるが、空調設備の選定はどのように行ったのか。

答 空調の熱源となる電気とガスでは、インシャルコストは電気の方が安価であるが、ランニングコストはガスの方が安価である。トータルコストで比較したところ、ガスの方が安価であることから、ガスの空調設備を選定した。また、発災時に、万一停電した場合においても空調設備が稼働できるように、電源自立型のガスヒートポンプエアコンを採用した。

民生病院常任委員会

議案3件を可決すべきものとなりました。
所管事務について5件の報告を受けました。

ひとり暮らし高齢者等のごみ戸別収集事業の試行実施について

高齢等により、ごみステーションまでごみを出しに行くことが困難になつていらっしゃる方を対象とした、ごみの戸別収集を試行実施する。

この事業を実施することで、市民サービスの向上を図り、高齢化社会に対応した廃棄物処理体制の構築を目指す。

問 試行実施では、対象者要件の判断基準や収集するごみの種類が限定されているなど様々な問題が発生すると思われるが、庁内関係部局と協力し、課題を検証しながら柔軟に対応して進めるよう要望する。

答 これまでも支援をいただいている家族や地域の方の協力も得ながら、より良い事業となるよう進めてまいります。



産業建設常任委員会

議案3件を可決すべきものとなりました。
所管事務について10件の報告を受けました。

〈富山県連携事業〉
県内企業の持続的发展
"TX(Toyama Co., Ltd.
Transformation)"
推進プロジェクト「採用促進応援
事業」の実施について

職場での就業体験を通じ、自社の魅力・良さ・仕事のやりがい等を学生に直接伝える機会であるインターンシップの実施を伴走的にサポートすることにより、市内中小企業等の雇用確保を支援するもの。

問 どのような企業が対象となるのか。また、3年間の期間限定の事業なのか。

答 インターンシップの受け入れ経験がない、または実施しているが改善したいと考えている市内中小企業等を対象としたい。
3年間の事業期間内に自走できる事業スキームを構築し、4年目以降も事業継続を目指したい。

総務文教常任委員会

5月14日から5月16日にかけて、栃木県宇都宮市、さいたま市及び東京臨海広域防災公園に県外行政視察へ行ってきました。

視察内容

- 宇都宮市…スーパースマートシティの推進
人口減少対策について
- さいたま市…大宮図書館について
Bibler（さいたま市）…旧大宮図書館の
活用について
- 東京臨海広域防災公園…そなエリア東京で
の防災体験



宇都宮市役所



さいたま市
大宮図書館

民生病院常任委員会

5月19日から5月21日にかけて、三重県四日市市、岐阜県可児市及び愛知県稲沢市に県外行政視察へ行ってきました。

視察内容

- 三重県四日市市…橋北交流会館について
- 岐阜県可児市…多文化共生センターフレビ
アについて
- 愛知県稲沢市…ふれあい収集について



四日市市
橋北交流会館



稲沢市役所

産業建設常任委員会

5月12日から5月14日にかけて、山口県周南市、熊本市及び福岡市に県外行政視察へ行ってきました。

視察内容

- 山口県周南市…徳山駅前賑わい交流施設を
中心とした徳山駅周辺のまちづくりについて
- 熊本市…宅地液化化防止事業について
- 福岡市…スタートアップカフェについて



熊本市役所



福岡市
Fukuoka Growth Next

予算特別委員会

令和7年度

射水市一般会計補正予算

(第1号)
(議案第48号)

歳入歳出にそれぞれ
5億9860万円を追加し、総額を
467億4860万円とするもの

主な事業

- 被災者生活再建支援システム導入業務
- 避難所生活環境改善資機材等購入
- 定額減税補足給付金(不足額給付)
- ひとり暮らし高齢者等こみ戸別収集
- 持続可能で競争力の高い農林水産業実現プロジェクト(アグリテックバレー構想推進事業)
- 能登半島地震からのとやま観光復興プロジェクト(射水市観光協会補助金)
- 学校給食食材費高騰対策支援事業補助金
- 中学校体育館空調設備設置工事設計業務

質問者及び質問項目

6月16日
(説明)



日程	質問者	主な質問項目
6月24日 	大垣 友和 委員	①外国人介護人材の状況と今後の支援について ②介護DXについて
	中村 文隆 委員	①庁内での生成AI導入について ②デジタル教科書及びプログラミング教育について
	高橋 久和 委員	①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について ②地域ぐるみ除排雪促進費について ③和田川の浸水対策について ④「農地バンク」と「田んぼダムについて」
	山本 満夫 委員	①犯罪被害者等支援条例について
	山崎 晋次 委員	①消雪施設維持管理費について ②市制20周年と戦後80周年の節目について ③射水市の富山県No.1について ④首都圏等における民間の物産活動について
	寺岡 伸清 委員	①コミュニティセンターについて ②高齢者が明るく生活できるまちづくりについて ③第三セクターに期待する役割について (文化スポーツ振興セクター等)
	金 賢志 委員	①道の駅新湊改修工事について ②スポーツコミッション調査事業について ③ふるさと納税について ④学校給食について
6月25日 	堀 義治 委員	①都市公園等ストック再編基本計画について ②防犯カメラの位置づけについて
	西元 勇司 委員	①アグリテックバレー推進サポートセンターについて ②市制20周年みんなでお祝い事業補助金について ③グリーンパークだいもんのスケートボード広場について
	石田 勝志 委員	①避難所生活環境改善資機材等購入について ②林野火災について ③特殊詐欺被害防止の取組について ③保険者機能強化推進交付金等について
	加治 宏規 委員	①市制10周年の際の記念事業、記念切手の販売及び記念誌について ②地域型市民協働事業の交付金について ③グリーンパークだいもん相撲場について
	呉松 福一 委員	①予算特別委員会のあり方について ②平和問題について ③県立公園太閤山ランドの駐車場の無料化について
	根木 武良 委員	①介護保険の住宅改修と福祉用具等の給付について ②戸籍の振り仮名記載について

6月定例会

《会期》6月6日～26日／21日間)

議決結果一覧表

【議案】

番号	件名	期日	結果
第48号	令和7年度射水市一般会計補正予算（第1号）	令和7年6月26日	可決
第49号	射水市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	令和7年6月26日	可決
第50号	射水市防災会議条例及び射水市国民保護協議会条例の一部改正について	令和7年6月26日	可決
第51号	射水市市税条例の一部改正について	令和7年6月26日	可決
第52号	射水市重度心身障害者等医療費助成に関する条例の一部改正について	令和7年6月26日	可決
第53号	射水市国民健康保険税条例の一部改正について	令和7年6月26日	可決
第54号	射水市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	令和7年6月26日	可決
第55号	市道路線の認定及び廃止について	令和7年6月26日	可決
第56号	池多コミュニティセンター改修（建築主体）工事請負契約について	令和7年6月26日	可決
第57号	射水市立新湊放生津小学校改修第1工区（建築主体）工事請負契約について	令和7年6月26日	可決
第58号	射水市立新湊放生津小学校改修第2工区（建築主体）工事請負契約について	令和7年6月26日	可決
第59号	射水市立新湊放生津小学校改修第3工区（建築主体）工事請負契約について	令和7年6月26日	可決
第60号	射水市立新湊放生津小学校改修（機械設備）工事請負契約について	令和7年6月26日	可決
第61号	損害賠償額の決定について	令和7年6月26日	可決
第62号	射水市議会の議員及び射水市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び射水市議会の議員及び射水市長の選挙におけるポスターの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	令和7年6月26日	可決
第63号	動産の取得について	令和7年6月26日	可決
第64号	動産の取得について	令和7年6月26日	可決
第65号	射水市立新湊放生津小学校改修（電気設備）工事請負契約について	令和7年6月26日	可決

【報告】

番号	件名	期日	結果
第2号	専決処分の承認を求めることについて（射水市市税条例の一部改正について）	令和7年6月26日	承認
第3号	専決処分の報告について	—	—
第4号	継続費繰越計算書について（一般会計）	—	—
第5号	継続費繰越計算書について（下水道事業会計）	—	—
第6号	繰越明許費繰越計算書について（一般会計）	—	—
第7号	事故繰越し繰越計算書について（一般会計）	—	—
第8号	事故繰越し繰越計算書について（下水道事業会計）	—	—
第9号	建設改良費繰越計算書について（水道事業会計）	—	—
第10号	建設改良費繰越計算書について（下水道事業会計）	—	—

【同意】

番号	件名	期日	結果
第1号	固定資産評価員の選任について	令和7年6月26日	同意

【議員提出議案】

番号	件名	期日	結果
第4号	射水市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	令和7年6月26日	可決
第5号	射水市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	—	議決不要
第6号	訪問介護の基本報酬引き上げ等を求める意見書	令和7年6月26日	可決

【その他】

番号	件名	期日	結果
—	議会運営委員会及び各常任委員会の閉会中の継続審査	令和7年6月26日	可決

《議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案について掲載》

○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	議決結果
議員名	石田 勝志	大垣 友和	西元 勇司	西尾 哲	金 賢志	杉浦 実	山本 満夫	寺岡 伸清	呉松 福一	加治 宏規	高畑 吉成	根本 武良	欠 員	中川 一夫	中村 文隆	山崎 晋次	不後 昇	吉野 省三	津田 信人	堀 義治	奈田 安弘	高橋 久和	
議案第48号 令和7年度射水市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○	可決
議案第53号 射水市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○	可決
議案第54号 射水市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	—	○	○	○	○	○	○	※	○	可決
議員提出議案第4号 射水市議会議員の定数を定める条例の一部改正について（2名減）	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	—	—	○	×	×	○	×	○	—	○	可決

議員定数を削減 ～2人減の20人に～

6月定例会の最終日に議員から「射水市議会議員の定数を定める条例の一部改正について」の議案が2案提出されました。先に、議員提出議案第4号（定数20人）が賛成多数で可決されたため、議員提出議案第5号（定数19人）は、一時不再議の原則（※）により議決不要となりました。

議員定数（現在22人）は、次回の選挙（令和7年11月執行予定）から20人となります。

※一時不再議の原則…一度議決した案件と同一案件については同一会期中に審議しないこと

／ おめでとうございます！ ／

議員表彰



全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から表彰を受けられた議員へ、6月定例会本会議において、議長から表彰状が伝達されました。

【在職20年以上表彰】

津田 信人 議員

【在職15年以上表彰】

中村 文隆 議員

山崎 晋次 議員

不後 昇 議員

【正副議長4年以上表彰】

山崎 晋次 議員

注) 市議会議員になる前に町村議会議員であった場合は、その期間の2分の1を在職期間に加えて計算します。

令和6年度

政務活動費の交付状況を公開しています

政務活動費の使途の透明化を図るため、令和6年度政務活動費に関する収支報告書及び領収書を公開しています。(議会事務局の事務所に備え付けるほか、市議会ホームページでも閲覧可能です。)

政務活動費は、「地方自治法」及び「射水市議会政務活動費の交付に関する条例」の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されています。

交付対象 議員個人

交付額 月額5万円(年額60万円)を上限
※四半期ごとに議員が支払った実費に基づき精算払い(後払い)

交付実績 交付決定(上限)額 12,600,000円
交付確定(実績)額 8,896,362円 → 執行率70.6%
(参考: 令和5年度執行率49.7%)



●広報委員会 **【委員長】** 津田 信人 **【副委員長】** 加治 宏規
【委員】 高畑 吉成、不後 昇、堀 義治、奈田 安弘、高橋 久和

9月定例会は、 8月29日(金)から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課(TEL 51-6610)までお問い合わせください。



傍聴者数

6月定例会
本会議…27人
委員会…21人
合計48人

皆さんの傍聴をお待ちしています。
ご希望の方は、議会開催日に本庁舎5階議会事務局までお越しください。